



もみじ

令和3年 4月30日

園だより No. 2

新潟市立新津第一幼稚園

豊富な体験こそが、確かな人格を育む

園長 間嶋 哲

「えんちょう せんせーい」

第一小学校の校長室で執務をしていると、二日に一回程度は、このような可愛らしい声が、後ろから聞こえてきます。振り返ると、そこには年長や年中の子どもたちが一斉に並んでいるのです。28日には、年長もみじ組さんが作ったヨモギ団子をいただきました。私にとっては、とてもありがたい大事な時間です。このような配慮を先生方がやってくれていることに、感謝の気持ちをもっています。



自己紹介が遅くなりました。4月からお世話になっている園長の間嶋哲(まじまあきら)と申します。3月までは、お隣の新津第三幼稚園の園長(第三小学校長)を4年間やっていました。まさか自分自身が当園に赴任するなど、全く考えていませんでした。園長としての5年目の生活が始まりました。

ある晴れた日のことです。何気なく幼稚園の建物を見ていて気付きました。「あっ、一幼には屋上があるんだ」と。三幼には残念ながら、屋上がありません。天気の良い日には屋上で遊ばせてもよいのと思っていた矢先、早速、子どもたちが担任の監督のもとで屋上に出て遊んでいました。まさに、施設の利点(よさ)を生かした保育になっているなあと感心しました。

赴任した当初、毎月の誕生会が、子どもと先生たちだけで行われていることを知りました。三幼では当たり前のように、誕生月の保護者には参観してもらっていました。今年度からは保護者の皆さんにもお越しいただき、ぜひ子どもについて語っていただく時間をとりたいと思います。保護者に来ていただくだけで子どもは大喜びですし、誕生会に参画していただきたいという思いもあります。

当園は、新潟市立幼稚園の拠点園として、様々な研究課題をもちながら園運営を行っていかねばなりません。その際に必ず考えていくことは、「それをすることが、子どもたちの幸せにつながるのか否か」です。保護者の皆さんの視点に立てば、「新津第一幼稚園に通わせて、本当に良かった」と、後々まで思っただけの幼稚園であり続けることが、とても大切なのです。



ヨモギ団子を自分の手で作り、みんなで味わうこと。屋上で遊びながら、空に浮かぶ雲にも様々な種類があることを感じる。誕生会で、お友達のお母さんの話もしっかりと聞くこと。これらすべてが、子どもにとって有意義な体験です。子どもにとって価値ある体験をたくさん積み重ね、確かな人格形成を当園は図っていきます。

